

グランドデザイン（目指す学校像・生徒像）の成果指標と生徒による高校魅力化アンケート結果の推移

1. グランドデザイン(目指す学校像・生徒像)の成果指標

※1) 太字は目指す学校像・生徒像。※2) Qは高校魅力化アンケート番号。※3) 数値は肯定的に回答した生徒の割合 (%)

	R3				R4				R5			
	6月	7月	12月	3月	6月	7月	12月	3月	6月	7月	12月	3月
1 地域産業を担う人材を育成するための実践的教育を行う工業高校	35.6	-	69.1	80.8	45.2	53.0	73.6	77.4				
Q14.地域の魅力や資源について考える	33.1	-	72.7	82.4	41.3	57.4	78.5	81.0				
Q15.地域の課題の解決方法について考える	32.5	-	75.3	84.7	40.6	52.2	78.5	82.1				
Q61.地域社会の魅力や課題について、自主的にテーマを設定し、フィールドワーク等を行いながら調べ、考える学習活動に対して、熱心に取り組んでいる	41.1	-	59.3	75.3	53.6	49.3	63.8	69.0				
2 規範意識と社会性を身につけ、積極的に社会に貢献する人材を育成する工業高校	46.6	-	64.7	61.6	48.8	56.6	65.4	71.4				
Q56.地域をよりよくするため、地域における問題に関わりたい	56.3	-	74.7	69.4	52.2	61.8	72.3	70.2				
Q58.将来、自分の住んでいる地域のために役に立ちたいという気持ちがある	62.3	-	76.0	74.1	65.9	67.6	76.2	72.6				
Q70.地域社会などでボランティア活動に参加した	21.1	-	43.3	41.2	28.3	40.4	47.7	71.4				
3 生徒自身が自らの成長を実感できる工業高校	84.8	-	84.7	82.4	81.2	84.6	89.2	81.0				
Q67.学校で学習することで、自分ができることやしたいことが増えている	84.8	-	84.7	82.4	81.2	84.6	89.2	81.0				
4 地域社会から必要とされ、保護者の期待に応えうる工業高校	58.3	-	75.5	72.2	58.1	63.0	74.6	73.4				
Q19.地域から大切にされている雰囲気を感じる	76.2	-	84.7	84.7	69.6	76.5	87.7	90.5				
Q29.地域の人や課題などにじかに触れる機会がある	50.3	-	75.3	75.3	53.6	61.0	84.6	78.6				
Q56.地域をよりよくするため、地域における問題に関わりたい	56.3	-	74.7	69.4	52.2	61.8	72.3	70.2				
Q58.将来、自分の住んでいる地域のために役に立ちたいという気持ちがある	62.3	-	76.0	74.1	65.9	67.6	76.2	72.6				
Q60.住んでいる地域の文化や暮らしの価値ある部分を、自らの手で未来に伝えていきたい	49.0	-	74.7	69.4	52.9	59.6	66.9	63.1				
Q63.将来、自分のいま住んでいる地域で働きたいと思う	55.6	-	67.3	60.0	54.3	51.5	60.0	65.5				
5 自立・協働・創造の資質と人権感覚を持った実践力を身につけた人	76.2	-	86.0	83.5	80.1	76.1	87.3	86.4				
Q28.立場や役割を超えて協働する機会がある	61.6	-	74.7	72.9	65.2	61.0	82.3	79.8				
Q43.自分とは異なる意見や価値を尊重することができる	90.7	-	97.3	94.1	94.9	91.2	92.3	92.9				
6 5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）活動ができる人間力を身につけた人	65.3	-	76.4	79.4	67.1	80.9	82.3	83.4				
Q40.目標を設定し、確実に行動することができる	64.9	-	76.0	78.8	66.7	78.7	80.8	81.0				
Q53.自分で計画を立てて活動することができる	65.6	-	76.7	80.0	67.4	83.1	83.8	85.7				
7 KY（危険予知）能力と技術力・判断力を身につけた人	56.3	-	69.3	72.9	55.4	60.3	71.2	75.6				
Q75.授業の内容について、「なぜそうなるのか」と疑問を持って、自分で考えたり調べたりした	69.5	-	67.3	71.8	59.4	59.6	70.0	76.2				
Q80.客観的な証拠に基づき考え、判断する科学的視点から課題解決にあたることができる	43.0	-	71.3	74.1	51.4	61.0	72.3	75.0				

(%)

2. 「しまねの学力育成推進プラン」の学力育成に向けた具体的な取組み

（授業の質の充実、家庭学習の充実、地域に関わる学習の充実）の評価指標

	R3				R4				R5			
	6月	7月	12月	3月	6月	7月	12月	3月	6月	7月	12月	3月
I Q8.活動、学習内容について生徒同士で話し合っていると思う生徒の割合	91.4	86.0	93.3	94.1	86.2	89.0	91.5	91.7				
I Q74.授業で興味・関心を持った内容について、自主的に調べ物を行った生徒の割合	56.3	65.4	64.0	64.7	50.0	60.3	63.8	70.2				
II Q38.家や寮で、誰かに言われなくても自分から勉強する生徒の割合	64.9	69.1	68.7	72.9	65.9	76.5	73.1	72.6				
III Q15.地域の課題の解決方法について考える生徒の割合	32.5	-	75.3	84.7	40.6	52.2	78.5	82.1				